

※変更箇所は、網掛け部分。

令和3(2021)年度修士課程入学試験案内 (2020.10.30改訂版)

言語情報科学専攻 超域文化科学専攻
地域文化研究専攻 国際社会科学専攻

この案内書は、令和3(2021)年度東京大学大学院総合文化研究科修士課程学生募集要項(言語情報科学専攻・超域文化科学専攻・地域文化研究専攻・国際社会科学専攻)を補足するものである。

1. 募集人員について

超域文化科学専攻及び国際社会科学専攻においては、下記のとおり分野別に募集人員を定めており、分野ごとに入学試験を実施する。

超域文化科学専攻：表象文化論分野 14名、文化人類学分野 7名、比較文学比較文化分野 14名
国際社会科学専攻：国際関係論分野 11名、相関社会科学分野 10名

2. 第1次試験(書類審査)について

(1) 下記の課題を、所定の期限までにPDFファイル(鮮明なもの)にて提出すること。

なお、課題の内容及び提出期限等は、専攻又は分野ごとに、また、一般出願者、外国人出願者(外国人の社会人特別選拔出願者を含む)、社会人特別選拔出願者でも異なるので、十分留意すること。

【各専攻(分野)による第1次試験課題表(外国人出願者には、外国人の社会人特別選拔出願者を含む)】

		課題の内容、提出期限等
言語情報科学		1. 卒業論文(又はそれに準ずる研究論文)の概要：日本語で6,000字～10,000字 ※章立てをして、問題提起・(見通される)結論を本文中に明記し、文献一覧を付すこと。 2. 研究計画書：日本語で2,000字程度(第2次試験に提出するものと同じもの) ※いずれもA4用紙を使用すること。 【提出期限】令和3(2021)年1月6日(水) 提出先については、令和2(2020)年12月21日(月)に本研究科ホームページに掲載する。
超域文化科学	表象文化論	1. 研究計画書 これまでの研究とそれを踏まえた今後の研究計画を日本語で3200～4000字程度にまとめよ。 2. 第2次試験に提出予定の論文の要旨。 一般出願者と外国人出願者の場合、論文要旨の使用言語および文字数は「令

		<p>和3（2021）年度修士課程第1次試験合格者に対する提出課題」に従うこと。社会人特別選拔出願者については、一般出願者に準じる。</p> <p>3. 各種外国語検定試験の結果</p> <p>参考資料としてPDFファイルにより提出すること（任意であり、必須ではない）。</p> <p>【提出期限】令和3（2021）年1月20日（水）</p> <p>提出先については、令和2（2020）年12月21日（月）に本研究科ホームページに掲載する。</p> <p>なお、外国語試験については第2次試験の口述試験時に再確認を行う。</p>
文化人類学		<p>次の各々について、指定期間中に、提示された課題の解答を作成すること。</p> <p>1. 外国語(I) [英語 I]</p> <p>2. 外国語(II) [選択外国語]（課題に基づき日本語400字程度の作文をした上で、それを選択外国語で訳す。ただし外国人出願者は日本語400字程度の作文のみとする。）</p> <p>3. 専門科目問題I(日本語で2000字程度。)</p> <p>4. 専門科目問題II(日本語で2000字程度。ただし英語700語程度での解答も可とする。)</p> <p>【提出期限】令和3（2021）年1月18日（月）16時</p> <p>問題内容及び提出先は、令和3（2021）年1月8日（金）に本研究科ホームページに掲載する。</p> <p>なお、外国語試験については第2次試験の口述試験時に再確認を行う。</p>
比較文学比較文化		<p>1. 提示された専門科目の問題から一題を選び、解答（日本語で3000字程度）。</p> <p>2. 「これまでの研究についてのまとめ」（日本語で800字程度）及び「今後の研究計画」（日本語で1200字程度。[社会人特別選拔出願者]は、大学院における研究成果を職業など、今後の社会生活にどのように還元することが可能であるかについての展望も付け加えること。)</p> <p>3. 各種外国語検定試験の結果</p> <p>参考資料としてPDFファイルにより提出すること（任意提出）。</p> <p>【提出期限】令和3（2021）年1月20日（水）</p> <p>問題内容及び提出先は、令和2（2020）年12月21日（月）に本研究科ホームページに掲載する。</p>
地域文化研究		<p>出願枠に応じて以下の課題を提出すること。</p> <p>[一般出願者]</p> <p>修士課程で研究したい計画を中心に、関連する分野でのこれまでの学修、語学能力などを日本語と英語で説明したもの。日本語は4000字を最大限とし、英語は600語程度とする。</p> <p>[社会人特別選拔出願者]</p> <p>修士課程で研究したい計画を中心に、関連する分野でのこれまでの社会人としての経験、語学能力などを日本語と英語で説明したもの。日本語は4000字を最</p>

		<p>大限とし、英語は600語程度とする。</p> <p>[外国人出願者]</p> <p>修士課程で研究したい計画を中心に、関連する分野でのこれまでの学修、語学能力などを日本語で説明したもの。4000字を最大限とする。</p> <p>【提出期限】令和3(2021)年1月6日(水)</p> <p>提出先については、令和2(2020)年12月21日(月)に本研究科ホームページに掲載する。</p> <p>なお、外国語試験については第2次試験の口述試験時に再確認を行う。</p>
国際社会科学	国際関係論	<p>所定の専門科目の課題に解答すること(課題の内容、解答の提出方法等については、令和2(2020)年12月18日(金)頃に受験票等とともに郵送により通知する)。</p> <p>【提出期間】令和3(2021)年1月4日(月)～1月6日(水)</p>
	関連社会科学	

(2)試験科目については、学生募集要項の3. 選抜方法及び専攻別試験科目の(2)を参照し、該当する者は出願前のなるべく早い時期に、本研究科事務部に問い合わせること。

3. 第2次(口述)試験について

(1)第2次(口述)試験は、第1次試験に合格した者を対象に、専攻(分野)ごとに主として専門科目や外国語科目(英語及び選択外国語)について審査を行う。各専攻(分野)が課す外国語試験は、学生募集要項3.(4)のとおり。

(2)超域文化科学専攻(文化人類学・比較文学比較文化)及び国際社会科学専攻の口述試験については、日本語で実施する。

4. 入学願書作成に関する注意

(1)入学願書は、「一般出願者・外国人出願者」用(桃色)と「社会人特別選拔出願者」用(紫色)に分かれているので、記入する際は十分注意し、どちらか一方を提出すること。

(2)入学願書は、正・副2枚ある。必ず2枚とも提出すること。

(3)「受付番号」及び「受験番号」欄以外は、該当する箇所すべてを記入すること。特に裏面の「履歴事項」等の記入を忘れないこと。

(4)超域文化科学専攻又は国際社会科学専攻を志望する者は、上記1.に記載の志望分野名を「志望専攻」欄に必ず記入すること。

(5)「受験外国語」欄について

ア. 外国語科目は、各専攻又は分野ごとに、また、一般出願者、社会人特別選拔出願者、外国人出

願者(外国人の社会人特別選拔出願者を含む)でも異なる。学生募集要項3.(4)の表を十分確認の上、記入すること。

イ. 日本語を受験する者は、「外国語(Ⅱ)[選択外国語]」欄の(1)に日本語と記入すること。

ウ. 地域文化研究専攻に出願する一般出願者は、入学後研究する地域の主たる使用言語が選択外国語の範囲内であれば、原則的にその外国語を外国語(Ⅱ)(1)として「外国語(Ⅱ)[選択外国語]」欄の(1)に記入し、もう一方の外国語を外国語(Ⅱ)(2)として(2)に記入すること。あらかじめ届け出たこの選択外国語の順位を変更することはできないので、記入後、再度確認の上、出願すること。

(6)氏名については、「ローマ字」欄にも記入すること。外国人で漢字圏の者は「氏名」欄に漢字、「ローマ字」欄にアルファベットで記入し、「フリガナ」欄に名前の読みを記入すること。また、外国人で非漢字圏の者は「氏名」欄にアルファベットで記入し、「フリガナ」欄に名前の読みを記入すること。

(7)「現在の身分」欄は、「出身大学等」欄に記載の大学等に在学中でない者のみ、所属機関、部局等の名称及び身分を記入すること。

(8)「履歴事項」欄(裏面)は、高等学校卒業から大学入学・卒業(又は卒業見込)まで詳しく記入すること。また、既に卒業した者は、大学卒業時から出願時までの履歴も詳しく記入すること。

(9)「社会人特別選拔出願者」用願書の「社会人活動状況記入欄」は、現在従事している職業等の社会人としての活動を、仕事の内容、雇用形態(常勤・非常勤の別)、1週あたりの労働従事時間等を含めて、具体的にできるだけ詳しく記入すること。

(10)貼付する写真3枚は、すべて同一のものを使用すること。

5. その他の書類作成に関する注意

(1)志望する専攻(分野)、受験外国語等の複数の書類に共通して記入する事項については、記入後、相違がないか必ず確認すること。

(2)大学に編入学している場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出すること。

(3)出願書類送付用封筒の両面を必ず記入し、出願書類等を封筒裏面に記載してある【出願書類等提出明細】の順に整理して封入すること。

(4)受験票送付用封筒に、受信場所(日本国内に限る)を記入のうえ、374円分の切手を必ず貼付すること。

(5)提出書類(各種証明書、論文等)に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、改姓名をしたことが確認できる証明書を添付すること。

また、願書に記載されている氏名と各種証明書等に記載されている氏名が異なる場合は、同一であることが確認できる証明書を添付すること。

6. 社会人の入学について

在職のまま下記の専攻に入学しようとする者には、学生募集要項7. 注意事項(5)について、下記のとおり補足説明する。

〔言語情報科学専攻〕

大学院に入学を許可された場合、在学期間中は大学院の学業に活動の重点を置くこと。在職のまま大学院に入学しようとする者は、入学手続の際に、在学期間中は大学院の学業を尊重する主旨の勤務先による承諾書を提出すること。

〔地域文化研究専攻〕

在職のまま大学院に入学しようとする者は、入学手続の際に、在学期間中は大学院の学業を尊重する主旨の勤務先の長（任命権者又はそれに準ずる者）による文書を提出すること。

〔国際社会科学専攻〕

在職中の者は、次の点に注意すること。

ア. 大学院に入学を許可された場合、在学期間中は大学院の学業に専念すること。

イ. 在職のまま大学院に入学しようとする者は、入学手続の際に、在学期間中は学業に専念させる旨を記した、勤務先の長(任命権者又はそれに準ずる者)による証明書を、可能なかぎり提出すること(証明書が提出できない場合でも、学業専念に関する勤務先の理解を得ておくこと)。また、長期履修制度の利用も選択肢の一つとして検討しておくこと。

7. その他

過去数年間の入試問題集は、下記において販売しているので、入手希望者は下記連絡先へ直接問い合わせること。

【駒場キャンパス】

東大生協書籍部(駒場)
〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1
東大構内駒場コミュニケーション・プラザ 1階
TEL(03)5454-6182
(03)3469-7145

又は

【本郷キャンパス】

東大生協書籍部(本郷)
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
第2 食堂建物1階
TEL(03)3811-5481
(03)5841-7983